

わたしの光のいえ”
ピース・ハウスふれんず”

September 2013

Issue Number 19



ごあいさつ	3
ピースハウス・ホスピスケア・プログラム	4
ホスピス 小さな物語	6
プログラム利用状況	10
各事業所概要	11
ホスピス教育研究所の活動	12
ピースハウスを支える活動	14



シンボルツリー：花水木

ごあいさつ

ピースハウス病院が開設したのは1993年9月23日でした。この年は財団法人ライフ・プランニング・センターが誕生してからちょうど20年後にあたり、当財団も20年という記念すべき年に、財団の目指してきた事業の大きな柱の一つを築くことができたということになります。そして、それからまた20年が経過し、財団としては40年、ピースハウス病院は20年の歩みを刻んできたということになりますが、ここで改めてピースハウス誕生にまつわるいくつかのエピソードを記し、関係する皆様に覚えていただきたいと思えます。

ピースハウスは、元湘南観光開発株式会社の大森正雄会長と主治医を務めてきた私との長年あため合ってきた“夢”の実現でもありました。

神奈川県中井町には大森会長の経営するゴルフ場「平塚富士見カントリークラブ」がありました。富士山と相模湾を望む全国でも屈指の名門ゴルフクラブでした。この地にゴルフ場をつくりたいという計画を立てられた大森氏に、私は何らかを地元に戻元すべきであると提言し、当時手薄であった地域住民の健康管理をサポートしてほしいと頼みました。そして日曜日の午後、私と紅林みつ子保健師が地元の農事センターに通い、健康相談に応じたり、あるいは往診に出向いたりもしました。これが1976年9月にゴルフ場内のフジカントリークリニックの開設へと発展し、いずれはもっと規模の大きい医療施設のための支援を約束していただきました。このクリニックは残念ながら2003年3月末に閉鎖に至りましたが、このような大森氏との約束からピースハウスの建設地を提供していただくことになったのです。

また、ピースハウス病院1階にある松本記念ホールは、パイオニア株式会社の故・松本望会長の多額のご寄付によって設備されたものであることも覚えていただきたいと思えます。

そして、何よりも大切なことは、建設に要した15億円の資金のうち、日本財団から8億円、神奈川県からの1億円の支援のほか、2億6,000万円は3年間に及ぶボランティアの方々による「ピースハウス後援会」の募金活動に応じて全国各地の方々からお寄せいただいたものであります。

私は、常々、「健康」の定義を「人間（人偏）」がしっかり「建（立つ）」って、しかも「康（やすらかであること）」と申していますが、人間がしっかり立つためには、それを支える地盤がしっかりしていなければなりません。ピースハウスの地盤はピースハウスの今日まで20年の歴史以前に、このように大勢の方々の力によって準備されていたものであり、その上にこれまでの20年の歴史が築かれてきたものであります。これから先も、一段と利用者に心を寄せる形で活動が展開されていかなければならないと考えています。

一般財団法人 ライフ・プランニング・センター
理事長 日野原 重明

ピースハウス・ホスピスケア・プログラム

私たちは、病いや老いとともに地域で暮らす人々が、自分たちらしく安心して過ごせるように、質の高いケアを提供します。

基本方針

私たちは、

- 1) 病いや老いによる困難をかかえる人と、その家族をはじめその人にかかわる人々をケアの対象とします
- 2) 各々が体験する心身の不快な症状の緩和と喪失や危機への対処ができて、望む場所で安心して暮らせるように、全人的ケアを提供します。
- 3) 多職種の職員・ボランティア・地域関係者がチームを構成し、互いに協力してケアを提供します。
- 4) 地域に根ざした全人的ケアのモデルとして、よりよいケアの実践・研究・教育を進めます。

ホスピスの歴史を調べていて、ふたつのことに気づかされました。

中世に巡礼の旅の途上で強盗に襲われたり病に倒れた旅人の手当てをし、暖かくもてなしたのがホスピスの始まりのようです。おそらく歴史として残っているのが中世のホスピスの姿と言うだけで、遡ってずっと太初からひとが持つ心に根ざした行為だったのだと思います。聖書にも「良きサマリア人」の話として知られる傷ついた旅人を無償で介抱した異邦人の姿が記されています（ルカによる福音書10章30-37節）。それは義務でもなく強制でもなく、ひとが自然に持つ憐みや同情、慈しみの気持ちに根ざした行動だだと思います。人生は旅に例えられます。旅の途上での不慮の出来事は、人生に起こるさまざまな厄災に準えられるでしょう。同じ旅（人生）するものとして同じ地平に立つ位置からの支えは温かく、傷ついた旅人がふたたび立ち上がるに足るものだと思うのです。

もうひとつの気づきは、さらに大きく時代を下ります。近代ホスピスの先駆けは宗教戦争や植民地化で家族や住まい、自由や命までも脅かされたアイルランドに発するようです。マザー・エイケンヘッドは食物も住む場所もなく怯える人々の居場所を求めました。マザーの遺志を継いで生まれたのが、デーム・シシリーも学んだセント・ジョセフホスピスです。近代ホスピスは「ひとがひとらしく生きるために生まれた」と言えると同時に、存在の最初から「ひとがひとらしく生きるため」のムーブメントでもあったのだと思います。

ピースハウスが日本ではじめての独立型ホスピスとしてここ中井の地に誕生して20年になります。時代は変わりピースハウスに望まれる働きにも変化を感じる日々です。しかし、同じ時を生きるものがそれぞれの生き方を尊重しながら支えあうこと、またひとがひとらしく生きるためにピースハウスが果たすべき働きは、20年前も今もそしてこれからも変わらないと思うのです。

ピースハウス病院 院長 齋藤 英一

ホスピス相談

ホスピスに関する質問や、在宅・外来・入院に関する相談窓口

通院によるホスピスケア

自宅で過ごししながら、病状緩和などのホスピスケアを通院で受ける

在宅ホスピスケア

訪問看護ステーションや地域の関係者との協力による24時間対応の在宅ケア

ピリブメントケア

大切な方をなくしたご家族への支援

入院によるホスピスケア

症状緩和・ターミナルケアを目的とした入院
ご家族の休養のために、予め期間を決めての入院など

ピースハウス病院は、主に治癒が困難ながんの患者さんとご家族に、ホスピス緩和ケアを提供する病院です。入院によるケアだけでなく、外来診療、また、訪問看護ステーションと協力して、在宅ホスピスケアも行なっています。

ケア開始にあたり、ホスピス緩和ケアについてご理解頂くことと、患者さんの現在のご様子について事前に把握させて頂くため、患者さんやご家族と面談の機会を設けております。

相談の窓口

ピースハウス病院では、下記の相談についての相談窓口を設けています。

1. 入院に関する相談
2. 外来や訪問診療に関する相談
3. ホスピスに関する一般的な相談など

これらの相談窓口は、ソーシャルワーカーや看護師が担当しております。また、ホスピス相談には予約が必要ですので、まずは、電話でご連絡下さい。
電話 0465-81-8900 (代)

相談に必要な医療情報

相談に来院して頂く際には、以下の4点の医療情報が必要です。

1. 診療情報提供書 (各医療機関の用紙)
2. 最近の検査データ (血液・尿検査・感染症・血液型を含む)
3. 現在の症状が判るレントゲンやCTなどの画像情報
4. ホスピスケア判定用質問用紙 (当院様式)

入院までの流れ

相談からケア開始までの流れは以下の通りです。

1. 電話による相談 (ホスピス相談の予約)
電話 0465-81-8900 (代)



2. ホスピス相談



3. ホスピスケア判定会議
(当院スタッフがケアの開始に必要な事柄について検討)



4. ホスピスケアの開始
(入院に関しては、判定会議からケア開始までベッドを待つ期間が生じる場合があります)

なお、ピースハウス病院では、病名告知は必須条件ではありません。患者さんが治癒困難である病状であることを認識し、ホスピスの趣旨を理解されていれば、ピースハウスでのケアを受けることができます。

入院費用

医療費に関しては健康保険が適用されます。患者さんによって、高額療養費制度や高齢者医療制度が利用できます。また、保険適用外として、差額ベッド代があります。(4人部屋は差額ベッド代なし)

当院に関する情報はインターネットでもご覧頂けます。<http://www.peacehouse.jp/>

ホスピス 小さな物語

ピースハウスは安らぎの家である

ここで時を共にする人は皆それぞれの生き方を尊重する

ピースハウスは、1993年9月23日、日本初の独立型ホスピスとして開院し、20年の月日を重ねてきました。患者さん、ご家族やご友人、スタッフやボランティア、さまざまな人が時を共にし、出会い、そして、たくさんの物語りが生まれました。

ここでは、ホスピスに関する4つのテーマ「環境」「暮らし」「共に過ごすそれぞれの世代」「また会いましょう」のもとに、8つの物語りを綴り、ピースハウスをご紹介します。

環境

この丘で聞こえる風の音，鳥の声

初めて知る草花の名前

コバンソウ，ホウキグサ，ネジバナ

日向の雑草は懐かしい匂い

病室での緊張感がやわらいでいく



ピースハウスの芝を刈るのは妻との約束なんですよ。

妻は入院中，ここの庭がいたく気に入ってね，

「あなた，身軽になったらこの芝の世話をするボランティアをしてちょうだい」と，言ってたものですから。

週に一度刈ってますよ，きれいでしょう？

暮らし



裏に畑があるのね？ 野菜がおいしいと思ったのよ。
今日のお昼はチャプレンと一緒に食べたの。
ここへきて少し太ったみたい。入院して焼きたてのロールパンが食べられるなんてねえ。

家でもよくパンを焼いたの。
もう一度家事がしたいわ。



「これ、おいしいね」
「あたたかくなったなあ」
「ツツジが咲いたね」
「この記事、読んだ？」

「ありがとう」

あなたと歩む命の日々。
愛がとこしえにあるように。

共に過ごすそれぞれの世代



ピースハウスに父を訪ねた。

2ヶ月目に入った孫を抱いて
顔がほころぶ。ほわほわの髪
をなでて「キューピーさんだ
なあ」と笑う。
今日来ることができて、本当
によかった。



母によると、僕がホスピスに入院しているおじいちゃんをたずねたのは、4歳の時だそうだ。

おじいちゃんの車イスに乗せてもらったのを覚えている。

高校1年夏、僕は再びここに来た。

夏休み特別プログラム「ボランティア体験実習」。

患者さんのお部屋にお茶とお菓子を届けるティーサービス、ちょっと緊張する。



また会いましょう

「おじいさんは幸せものだよ。わがまま聞いてもらって」
家に帰りたいと強く希望して退院したTさん。

家族は在宅で看取る覚悟。

訪問看護が始まりました。家で療養する不安は、次第に、首を伸ばせば見えるところに互いがいる安心感に変わっていきました。

お別れの時、涙の中にも笑いユーモア、そのご様子はTさんとの暮らしを全うできたことへの感謝と、ご家族が互いをねぎらい思いやる愛情溢れるものでした。



「早い時期に会ってやってください」
K子のご主人から電話があったのは肌寒さの残る春の初めのころだった。

17年ぶり、病室で再会。

横たわるK子は私を見るなり開口一番

「どしたの？ ずいぶんやつれてるじゃない」。思わずむっとし「病院だから地味にしてきたのよ!!」と返事しながら、そうだ、こんな風に言いたいことを言えるから一番の友達だったんだと気づく。

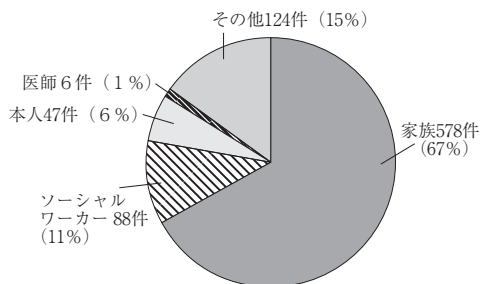
3ヶ月後にK子は旅立った。

天に住むかた、愛する友を委ねます。私の番が来たときに、K子が門で出迎えてくれると信じます。

プログラム利用状況 (2012年4月～2013年3月)

2012年度の相談状況

相談件数：843件



ピースハウス病院 入退院状況

- 入院患者数 192名 (延べ199名)
- 男女別 男109名 女83名
- 年齢 33歳～102歳 平均72.9歳
- 平均在院日数 28.3日
- 疾患 (悪性新生物原発部位)

肺	45	卵巣	10	リンパ	3
直腸	17	食道	9	膀胱	2
膝	16	肝・胆道	8	甲状腺	1
胃	16	腎・尿管	8	原発不明	2
結腸	11	子宮	7	その他	8
乳房	10	咽喉頭	6		
前立腺	10	脳	3		

(6) 紹介元医療機関

東海大学医学部付属病院	28
神奈川病院	18
東海大学医学部付属大磯病院	18
小田原市立病院	16
神奈川県立足柄上病院	13
平塚共済病院	13
平塚市民病院	10
東名厚木病院	5

<以下 各3件>

秦野赤十字病院・山近記念病院・伊勢原協同病院・八木病院 (順不同)

<以下 各2件>

東京女子医科大学病院・慶應大学病院・日本医科大学武蔵小杉病院・昭和大学藤が丘病院・済生会平塚病院・小澤病院・聖マリアンナ医科大学病院 (順不同)

<その他45施設 各1件>

(7) 患者住所分布

神奈川県	180	東京都	10	その他	2
------	-----	-----	----	-----	---

(8) 神奈川県の内訳

湘南西部	県西部	その他		
秦野市	32	小田原市	29	39
平塚市	28	足柄上郡	10	
中郡	21	南足柄市	7	
伊勢原市	10	足柄下郡	4	

ピースクリニック中井 診療実績

- 利用者数 47名
- 男女別 男29名 18名
- 年齢 10歳～88歳 中央値73歳
- 症例内訳 疾患内訳

小児	1	がん	31
成人	46	非がん	16

(5) 転帰

生存	14	他施設死亡	8
在宅死亡	21	ピースハウス病院での死亡	4

(6) 紹介元医療機関

東海大学医学部付属病院	12
東海大学医学部付属大磯病院	10
平塚市民病院	4
神奈川病院	3
ピースハウス病院	2
秦野赤十字病院	2
平塚共済病院	2
慶應義塾大学病院	2
その他	10

(7) 訪問地域

中井町	6	大磯町	11	二宮町	10
平塚市	3	秦野市	17	その他	0

(8) 特別な医療

在宅酸素療法	14	在宅中心静脈栄養	6
在宅人工呼吸管理	3	在宅携帯型ディスプレイポンプ	7

訪問看護ステーション中井 訪問看護実績

- (1) 利用者数 80名
 (2) 男女別 男40名 女40名
 (3) 年齢 40歳～95歳 中央値80歳
 (4) 介護度

	(名)	(%)
要介護3以下	39	49
要介護4	11	14
要介護5	25	31
介護保険対象外	5	6

(5) 対象主疾患

	(名)	(%)
がん	26	33
非がん	54	67

(6) 転帰

	(名)	(%)
訪問継続	52	65
訪問終了	28	35

終了理由



ピースハウス 病院入院	4
他院入院	4
入所	7
自宅で死亡	10
その他	3

(7) 主治医

	(名)	(%)
ピースクリニック中井	13	16
在宅療養支援診療所	17	21
その他開業医	19	19
総合病院	31	31
計	80	100

(8) 訪問地域

中井町・二宮町全域
 秦野市・平塚市・小田原市の一部

各事業所概要

◆ピースハウス病院◆

〒259-0151

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

電話 0465-81-8900 FAX 0465-81-5520

<http://www.peacehouse.jp>

病床数：22床

スタッフ：専任医師3名，看護師27名，看護助手5名，薬剤師2名，MSW1名，チャプレン1名，音楽療法士1名，管理栄養士2名，キッチンスタッフ7名，事務員4名，ハウスキーパー7名，ボランティアコーディネーター1名，ボランティア88名

◆訪問看護ステーション中井◆

〒259-0151

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

電話 0465-80-3980 FAX 0465-80-3979

<http://www.5a.biglobe.ne.jp>

業務時間：月～金 9：00～17：30

緊急時24時間対応

スタッフ：看護師5名，事務員1名

◆ピースハウスホスピス教育研究所◆

〒259-0151

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

電話 0465-81-8904 FAX 0465-81-5521

<http://www.7.airnet.ne.jp/peace-h/>

業務時間：月～金 9：00～17：40

スタッフ：5名

◆ピースクリニック中井◆

2013年4月より一時休診中

2012年度ホスピス教育研究所の活動

ピースハウスの2階に位置するホスピス教育研究所は、神奈川県をはじめ全国に向けてのホスピス緩和ケアに関する教育プログラムの提供、院内スタッフ・ボランティアの教育、さらに、国内外の他施設・団体とのネットワーク作りなどを主な業務としています。

また、「日本ホスピス緩和ケア協会」事務局として、年次大会・理事会・専門委員会の開催、全国の緩和ケアの現状調査、講演会の開催、機関紙の発行などを並行して行っています。

ホスピス教育研究所 所長 松島 たつ子

1. ターミナルケア人材育成講座の開催

講座名	期日	日数	講師(所属)	参加人数
ホスピス緩和ケア講座	2012年9月~11月	4	齋藤英一(ピースハウス病院院長) 他11名	延165
ホスピスセミナー 死にゆく人と共にいて	2012年6月	1	沼野尚美(宝塚市立病院チャプレン)	94
ホスピスワークショップ 患者の意向を尊重した終末期医療のあり方 ー意思決定のプロセスを支えるー	2012年7月	1	木澤義之(筑波大学附属病院医療福祉支援センター副センター長, 緩和ケアセンター副センター長)	57
ホスピスセミナー 最近のがん治療と緩和ケア ー腫瘍内科と緩和ケアの協働のためにー	2012年9月	1	西智弘(川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター)	40
ホスピスセミナー がん患者・家族への支援 ー病院から在宅へ, そして地域で暮らす人々を支えるー	2012年12月	1	玉井照枝(東北公済病院地域連携センターなんでも相談室 爽秋会岡部医院)	60
ホスピスセミナー 子どもと家族のための緩和ケア ー難しい病気に脅かされる子どもの生命と暮らしを守るためにー	2013年3月	1	永山淳(ピースクリニック中井院長)	39
春期ボランティア講座	2012年5月~7月	6	志村靖雄(ボランティアコーディネーター) 他7名	12
秋期ボランティア講座	2012年10月~2013年1月	6	志村靖雄(ボランティアコーディネーター) 他7名	7
ボランティアアドバンス講座	2012年4月~2013年3月	5	米山由希子(ピースハウス病院看護師) 他3名	延220

2. 第20回ホスピス国際ワークショップの開催

開催日: 2013年2月2日(土)・3日(日)

開催場所: ピースハウスホスピス教育研究所

テーマ: なぜそうするのか? -緩和ケアにおける倫理とコミュニケーション-

講師:

- ・ Dr. Cynda Hylton Rushton
Professor of Nursing, Johns Hopkins University, USA
- ・ Anthony Lee Back, M.D.
Professor, Division of Oncology, Department of Medicine, University of Washington School of Medicine, USA

内容:

- 第1日目
 - ・ コミュニケーションスキル: 基本
 - ・ コミュニケーションスキル: 予後, 死を目前にすること, 死ぬことについての深刻な問題



左: Dr. Cynda Hylton Rushton
右: Dr. Anthony Lee Back

- ・ 演習(ロールプレー)と全体の分かち合い
- ・ 終末期における倫理的問題
- 第2日目
 - ・ 道義的苦悩を癒しに変える
 - ・ グループディスカッションと全体の分かち合い
 - ・ 臨床医のストレス・バーンアウト, それに対するしなやかな回復力

参加人数: 125名

3. 研修生の受け入れ

- ①医療職のためのホスピス緩和ケア研修（計11名）
衣笠病院 医師（1），都立駒込病院 医師（1），昭和クリニック 医師（1），秦野赤十字病院 医師（1），聖路加国際病院 医師（1），平塚市民病院 医師（6）
- ②日本看護協会「ナースのためのホスピス緩和ケア研修」（計10名）
山口赤十字病院（1），茅ヶ崎徳洲会総合病院（1），鶴巻温泉病院（1），湖山病院（1），済生会宇都宮病院（1），神山復生病院（1），盛岡赤十字病院（1），津島市民病院（1），済生会今治病院（1），熊本地域医療センター（1）
- ③神奈川県看護協会「緩和ケア認定看護師教育課程」臨地実習（計4名）
帝京大学医学部付属溝口病院（1），医療法人平和病院（1），川崎市立井田病院（1），平塚共済病院（1）
- ④医学生のためのホスピス緩和ケア研修（5名）
東海大学医学部（5）
- ⑤看護大学院生のためのホスピス研修（2名）
自治医科大学大学院看護学研究科（2）
- ⑥ホスピス体験実習（計14名）
神奈川県立七里ヶ浜高等学校（6），麻布学園麻布高校（4），ルーテル学院大学（1），東京薬科大学（2），聖路加看護大学（1）

4. ピースハウス見学への対応 36件, 357名

主な団体

神奈川県衛生研究所，順天堂大学附属病院，川崎幸病院，東名厚木病院，伊勢原協同病院，妹尾病院，亀田メディカルクリニック，関本クリニック，平塚中郡薬剤師会，神奈川県医療社会事業協会，聖霊病院ボランティア，木原基督ホスピス会（韓国），韓国イエス教団社会福祉委員会，(株)サンリオ総務部など

5. 研究会の開催

- ①事例検討会
期間：2012年4月～2013年3月（10回）
延参加人数：210名
主なテーマ
・症状マネジメントに難渋した事例－症状の把握，患者との協働－
・「家で死にたい」と希望する患者と在宅療養を困難と感じる家族－両者の思いに寄り添う関わりとは－
・倦怠感のある患者の症状マネジメント－少しでも自立した生活を送りたい思いと身体状況のギャップが広がっていった患者－
・ホスピスから在宅へ移行した肝細胞癌のケース
・認知症のあるがんの終末期患者のケア－患者の世界を尊重した関わり－

- ・ギアチェンジの過程における患者と家族のケア－外泊中に急変し救急搬送された事例を振り返る－
- ・抜去した胃管・点滴の再挿入を望んだ家族に看護師が困惑した事例

②ホスピスケア研究会

期間：2012年5月～2013年3月（6回）

延参加人数：54名

主なテーマ

- ・どうして不安になるのだろうか－自分の感情に気づく－
- ・「もう病院で死ねない」について
- ・続ける理由－ホスピススタッフ・ボランティアとして－
- ・死と向き合い始めた患者との対応
- ・あなたの夢と自己実現
- ・ユーモアの短詩「川柳」とホスピスケア

③地域緩和ケア研究会

期間：2012年4月～2013年1月（5回）

延参加人数：199名

主なテーマ

- ・がん診療連携拠点病院緩和ケアチームの活動
- ・がんサロンへの取り組み
- ・非定型抗酸菌症の姉を認知症の妹が看取った事例について－認認介護，関わりはどこまで－
- ・子どもと家族のための緩和ケア
- ・ホスピスにおける家族ケアと地域連携
- ・一般病院における緩和ケア－さまざまな立場の看護師との関わりからA氏の家に帰る意味を考える－
- ・皆で語ろう 地域で暮らす人々を支える－緩和ケアネットワーク－

④高齢者ケア部会

期間：2012年5月～2013年1月（4回）

延参加人数：116名

主なテーマ

- ・あなたならどうする？ 思うようなサービス導入ができないとき
- ・お別れにむけた準備－End of Life Care 最後の数週間 最後の数日－
- ・認知症患者のケア（ケア・カフェスタイル）

6. 図書・文献整備

購入図書 19冊

定期購読雑誌 13誌（洋雑誌7誌・和雑誌6誌）

7. 研究所会員制度（図書貸出など）

会員数 20名（医師3，看護師10，理学療法士1，ケアマネジャー1，介護福祉士1，ソーシャルワーカー3，他1）

8. 機関誌発行

ピースハウス活動報告（ふれんず Issue No.18）

3,500部

ピースハウスを支える活動

◆ボランティアをする

あなたの大切な時間と能力を、より良いホスピスケアのために提供していただけませんか。

ピースハウスでは約100名のボランティアがケアチームの一員として活動しています。ボランティアをする方は、毎年春と秋に開催されるボランティア養成講座を受講し修了証を手にしていただきます。

活動は、週1日（10：00～17：00）予め約束した曜日に無償で奉仕していただくことが原則です。

おもな活動内容

- 1) ホスピスにおける患者・家族の暮らしを支える活動
内外の環境整備・看護補助・アートプログラム開催・ティータイムサービスなど
- 2) 専門的にかかわる特技ボランティア
シャトルバス運転・マッサージ・美容・園芸・営繕など



◆院外から支援する

あなたのあなたらしい方法でご支援いただけると幸いです。

ボランティアとして直接チームケアにはかかわれないが、外部から間接的に支援してくださるグループまたは個人の活動があります。下記にいくつかご紹介します。



- * LPC ホスピスサポートチーム：会員の寄付金やイベント、書籍販売などの収益金でシャトルバスの購入や運行を支援
- * 府中はなみずき：手作りの介護用品や備品を提供
- * 姫由美子コンサート：チャリティコンサートを開催、収益を寄付

その他、ふれんずショップ（ボランティアショップ）への手作り品の提供、介護用古布の提供、イベントへの参加など、数え切れないほどの善意の方々やグループからご支援を頂いています。

◆お金を寄付する

あなたのお金が日本のホスピスケアのモデルとなるピースハウスの活動を実現します。

これまで多くの皆様のご支援により、1993年、ピースハウス病院とホスピス教育研究所を開設し、1999年に訪問看護ステーション中井、2010年にはピースクリニック中井を開設することができました。病気を持ちながらも自分らしく生きる患者さんとそのご家族が、希望する場所で、質の高いケアを継続的に受ける。このような活動をさらに充実させていくためには、皆様方のお力添えが必要です。あたたかいご協力をお待ちしています。

1. 寄付の種類

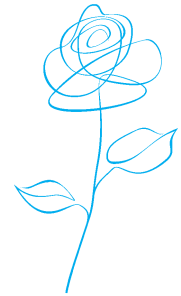
1) 継続的な寄付

「ピースハウス友の会」の会員となって、継続的にご支援いただく方法です。これは年会費という形で毎年寄付を継続してくださる方々の会で、次の4種類があります。

さくら会員	1万円
ばら会員	3万円
はなみずき会員	5万円
かとれあ会員	10万円以上

*会員の種別は毎年ご自由にお選びいただけます。

*1年に一度、ピースハウス病院の活動のご報告をお送りするとともに、会員継続のご意向についてお伺いいたします。



2) 随時の寄付

時期を特定せず、任意の金額を提供していただく方法です。

2. 寄付の方法

ご寄付いただける場合は、下記までお振込みください。お手数ですが、振込みに際しましては、通信欄に「〇〇会員」か「随時の寄付」かをご記入ください。

[振込先]	郵便振替口座 00130-6-407939
	加入者名 (財)ライフ・プランニング・センター ピースハウス募金口

ピースハウスを支える活動については下記にお問い合わせ下さい。

TEL : 0465-81-8900 FAX : 0465-81-5520

E-mail : ph_voco@yahoo.co.jp

担当 : ボランティアコーディネーター 志村 靖雄

2012年度収支報告

2012年度の入院患者は192名、延べ5,560人、1日当たり平均在院患者数は15.2人、平均ベッド稼働率は69.2%で前年度比いずれも低下しました。

事業収入	301,232 千円
事業支出	331,281
当期事業収支	▲30,049
経常外収支	10,510
寄附金・会費収入	15,556
当期収支	▲3,983 千円

寄付報告

運営のためのご寄付	62件	12,996 千円
友の会会費	137件	2,560 千円
さくら会員	103件	1,030 千円
ばら会員	21件	630 千円
はなみずき会員	8件	400 千円
かとれあ会員	5件	500 千円
合計	199件	15,556 千円



一般財団法人
ライフ・プランニング・センター
ピースハウスホスピス

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
TEL 0465-81-8900 FAX 0465-81-5520
ホームページ <http://www.peacehouse.jp/>